

日本画教室 初心者短期クラス

初めて日本画を学ぶ初心者のためのクラスです。

開催日時 令和7年4～令和8年3月 全6回 13:00～16:00

開催場所 山口蓬春記念館 別館（神奈川県三浦郡葉山町一色 2320）

募集人数 若干名

参加費用 9,600 円

講師名 吉田 愛（火曜担当） 押山 治（水曜担当）

申込締切日 参加希望日の1週間前

日程・内容（各回予定）

全6回

- ・第1回受講日はお申込日から1ヵ月以内の日にご指定いただきますようお願い申し上げます。
- ・お申し込みの際、「備考」欄にて、全6回の受講希望日をご記入ください。当財団で教室の空き状況等を踏まえ、第1回受講日を調整させていただき、別途、メール・電話等でご連絡いたしますので、あらかじめご承知おきください。
- ・行程の都合上、第1回受講日は★以外より選びください。
- ・日程・内容は変更になる場合があります。

下記の日程から6つ選択				内容	用意するもの
	火曜	水曜		第1回 ○オリエンテーション (日本画を始めるにあたって、6回の進め方等の説明) ○モチーフ写生	スケッチブック (F6)、鉛筆(2B・B・HB)、水彩画用具一式、練り消しゴム、雑巾、モチーフ
4月	22日	23日★	30日★	第2回 ○写生を本紙(ボード)に写す ○墨線骨描きおよび隈取り(輪郭線を写した後に、薄墨で陰影などを入れる。) ○膠と絵の具の溶き方の説明の後、上汁黄土による地塗り	同上
5月		7日★	14日★		
	27日	21日★	28日★		
6月	10日	4日★	11日★		
	24日	18日★	25日★		
7月	8日	2日★	9日★	第3回 ○岩絵の具の解説と溶き方の説明の後、バックの彩色 (バックの彩色は、時間の許す限り数回重ねて塗る。)	日本画用具一式
	15日				
9月	9日	3日★	10日★		
	23日	17日★	24日★		
10月	21日	1日★	8日★		
	28日	15日★	22日★	第4回 ○モチーフの彩色に入る (下塗りから入り、絵の具を上は何色か重ねるイメージを持つ。)	"
		29日★			
11月	11日		12日★		
	18日	19日★	26日★		
12月	9日	3日★	10日★		
	23日	17日★	24日★	第5回 ○モチーフの彩色続き (ある程度納得できるまで、こだわりを持って塗り重ねる。)	"
1月	20日				
2月	10日	4日	11日		
	17日	18日	25日		
3月	10日	4日	11日		"

	24 日	18 日	25 日	第 6 回 ○仕上げ (細部の描き込みおよび全体感のバランスを整える。) ○日本画を 1 点制作してみての感想等	
--	------	------	------	---	--

※火曜日クラスは現在満席です。

※水曜日クラスは 2 月の回より、お申込みいただけます。

持ち物・注意事項

スケッチブック (F6)、鉛筆 (2B・B・HB)、水彩画用具一式、練り消しゴム、雑巾、モチーフなど。

※日本画用具につきましては、初日に説明します (参加費とは別に、画材を揃えるのに 3,000 円ほどかかります)。

備考

- ・第 1 回受講日はお申込日から 1 ヶ月以内の日にご指定いただきますようお願い申し上げます。
- ・初心者短期クラスを修了し、引き続き継続されたい方は、「日本画 火曜」「日本画 水曜 A」「日本画 水曜 B」のコースにそのまま途中入会できます (要別途参加費用。各クラスの定員の都合により、ご希望に沿えかねる場合がございますので、あらかじめご承知おきください)。

講師プロフィール

吉田 愛 先生

2005 年安宅賞受賞 (安宅奨学基金)。2007 年東京芸術大学美術学部日本画専攻卒業。2009 年東京芸術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻修了。2007 年～現在まで個展、グループ展多数開催。2019 年第 37 回上野の森美術館大賞展・賞候補入選。2020 年「GODIVA」「山田平安堂」コラボ限定コレクションの重箱に梅の枝をデザイン。2021 年 FACE2021 損保ジャパン日本興亜美術賞展に入選。日本画の他、イラストや挿絵・本の装画制作もおこなう。現在、東京都立総合芸術高等学校美術科講師。

押山 治 先生

1961 年神奈川県生まれ。1987 年東京藝術大学日本画科専攻卒業。卒業制作《流》は台東区長賞受賞。1989 年東京藝術大学大学院日本画科専攻修了。平山郁夫氏に師事。1990 年レスポワール新人選抜展 (銀座スルガ台画廊)。1993 年院展初入選。1998 年個展 (銀座・かわべ美術)。1999 年日本美術院院友推挙。2000～06 年清風会展、2009・11・13・15・17・19・21・23 年個展 (銀座スルガ台画廊)。現在、日本美術院院友。